

### <議題>

1. 議長の選出：渡部終五氏が推薦され、全員一致で承認された。2. 副議長の選出：日本付着生物学会の代表（加戸隆介氏）、マリンバイオテクノロジー学会の代表（今田千秋氏）、地域漁業学会の代表（田和正孝氏）が推薦され、全員一致で承認された。3. 幹事の選出：日本学術会議の代表幹事として竹内俊郎氏、本協議会の幹事として佐野元彦氏が推薦され、全員一致で承認された。4. 各学会の活動の紹介があった。5. シンポジウムの開催について：渡部終五氏より、水産に特化した放射能に関するシンポジウムの開催が提案された。竹内俊郎氏より、11月下旬の開催とする提案があった。和田時夫氏より、放射能に関するシンポジウムについて、将来の展望の話題をいれる提案があった。協議会での議論を踏まえ、渡部氏と竹内氏で検討を進めることとなった。

平成27年度第2回協議会が2015年11月26日に東京海洋大学品川キャンパスで開催された。田中次郎会長が出席。

### <議題>

1. 日本学術会議食料科学委員会水産学分会の以下について、渡部終五氏より報告があった。1) 公開シンポジウムの計画を承認。2) 名古屋議定書関連検討分科会が発足し、水産学分会から廣野育生氏（東京海洋大）が幹事として参加、今年度中に問題点を整理し提言を出す予定。3) 日本学術会議Gサイエンスで諮っているサミットのテーマとして「海洋」が候補。4) 参照基準農学分野がまとまる。5) 東日本大震災にかかる学術調査検討委員会の個人的な

活動の報告をまとめる予定。6) 地球温暖化時代における持続可能な水産業のあり方をまとめる予定。7) 学術の大型研究計画について議論進行中。8) 東京オリンピック・パラリンピック食料調達基準に向けた持続可能な水産物のあり方が話題。9) 11月27日公開シンポジウム開催後に第23期第6回分科会が開催される予定。2. 各学会の活動の紹介があった。3. 公開シンポジウム「東日本大震災による原子力発電所事故に伴う魚介類の放射能汚染の問題と今後の展望」の準備状況および当日のスケジュールについて、竹内俊郎氏より報告があった。4. 「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準農学分野」報告と今後の課題について、青木一郎氏より報告があった。5. 生物多様性条約・名古屋議定書に関して、渡部終五氏よりABS学術対策チーム開催の「海洋遺伝資源のアクセスと利益配分のあり方」の報告があった。6. 日本学術会議第23期「学術の大型研究計画に関するマスタープラン」について、渡部終五氏より昨年からのマスタープランについての報告があった。渡部氏より水産学分会、窪川かおる氏より海洋生物学分会の動向について説明があった。神田稷太氏と伊藤進一氏より日本海洋学会のマスタープランについて説明があった。

## 自動会費納入

### 会員各位

会員管理事務の効率化と経費削減のため、自動振替による会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。当面の間は引き落とし手数料（税別155円）を学会の負担とさせていただきます。また、自動振替をご利用の会員全員に領収書を発行させていただいております（送付は12月末の引き落とし後）。

事務手続き上、外国会員につきましては従来通りクレジットカードによる、また学生会員につきましては郵便振替による振込みのみとさせていただきますので、ご了承ください。振替依頼文書をご希望の方は、下記事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

庶務幹事（会員担当）

### 【お申込み・お問い合わせ先】

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5-1

高知大学教育研究部総合科学系黒潮圏科学部門 関田論子 宛

Tel 088-844-8697

E-mail sekida@kochi-u.ac.jp